

北部病院だより 第139号(2020.1)

Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】～新年のご挨拶～
【医学講座コーナー】前立腺がん
【TOPICS】クリスマスツリー点灯式を行いました
【TOPICS】クリスマスの飾りつけを行いました
【TOPICS】ロビーコンサートのお知らせ
【医師の配属・異動・退職】
【TOPICS】横浜市北部緩和ケア研修会を開催しました
【TOPICS】アピアランスケア相談会のお知らせ
【患者さんからのご意見・ご要望】
【診療統計】
【お知らせ】がん相談支援センターについて
【編集後記】



昭和大学
横浜市北部病院

巻頭言 ～新年のご挨拶～

新年あけましておめでとうございます。

昨年「平成」から「令和」となり、10月には「即位礼正殿の儀」が執り行われましたが、秋の風雨災害に遭われた方々に対しまして衷心よりお見舞い申し上げます。令和2年（子年）の幕が開きましたが、皆様にとりまして健やかで活気溢れる年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、北部病院では2001年の開院時に導入した電子カルテの更新時期を迎え、新年とともにNewバージョンによる運用を開始しました。学校法人昭和大学では各附属病院における電子カルテシステムの共通化を計画し、2014年に昭和大学江東豊洲病院での「昭和大学共通電子カルテシステム」導入を皮切りに、青葉区の藤が丘病院、品川区の昭和大学病院が追随し、今回当院での更新作業によって、昭和大学附属8病院中4つの総合病院におけるシステム共通化が完了しました。それと同時に、各附属病院の診療・看護の標準化も進め、より効率的で安全かつ安心な医療の提供を目指すとともに、建学の精神である「至誠一貫」のもと、優れた医療人の育成に向けた教育・研究の継続に日々努めています。

今回の電子カルテ更新では、昭和大学の全附属病院における「共通診察券（一枚化）」を具現化する手初めとして、横浜市内に開設している3病院（北部・藤が丘・藤が丘リハビリテーション）の診察券番号（ID番号）を統一しました。これによって、上記のどの病院へ受診しても患者さん毎にカルテ情報の一元管理が可能となります。つまり、北部病院に居ながら藤が丘病院での検査結果などを閲覧することができ、互いに検査の重複を回避し、効率的な診断・治療計画の立案が容易となります。

なお、上記3病院のID統一に際し、これまで北部病院で使用していたものは新たな診察券（IDカード）に交換することになりますが、北部病院の受診だけでなく、藤が丘病院や藤が丘

リハビリテーション病院への受診経験をお持ちの方は、そこで発行されたID番号との突合確認作業が必要となります。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、「カルテ内のデータは患者さん個人のもの」という理念に基づき、新しいIDカードを用いて、患者さんご自身が自己データを管理できるようなシステムの導入も計画しています。これは地域医療機関との連携、健康寿命の延伸などを目的とした新たな試みで、現在このシステムを構築中であり、詳細については後日改めてご案内させていただきます。

2017年から法人全体で取り組んでいる「働き方改革」は、当院の医師だけでなく、看護師・助産師・薬剤師・事務職をはじめ病院内で働く全ての職種を対象にして進んでいます。この進捗により、過重労働やそれによる健康被害を避けるとともに、病院全体が一つのチーム“One Hokubu”として、来院される患者さんやご家族の信頼や期待に応えられる医療の提供、患者満足度の向上を実現しています。この働き方改革の開始当初、新たな文化の導入に職員の戸惑いもありましたが、全職員による“総力戦”で改革を推進し、職務満足度のさらなる向上を目指しています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



昭和大学横浜市北部病院
門倉 光隆 病院長

令和二年正月
病院長 門倉光隆



医学講座コーナー 前立腺がん

前立腺は精液の一部を作る臓器で、男性のみに存在し、膀胱の下、直腸の前方に位置しています。正常の前立腺はクルミ大で、重さは約 18g です。

前立腺の腫瘍には、大きくなり排尿障害の原因となる良性の前立腺肥大症、悪性の前立腺癌などがあります。

前立腺癌は、65 歳以上に多く発生するとされていましたが、最近では 50 歳代でもみつかることが増えてきました。痛みで受診し、骨転移で見つかることもあります。最近では PSA 検診の普及に伴い前立腺癌が早期で見つかることが多くなりました。

PSA とは『前立腺特異抗原：prostate-specific antigen』の略語で、前立腺から分泌される蛋白質です。他の多くの腫瘍マーカーと異なり、前立腺のみでしか上昇しません。血液検査で判定でき、現在は健康診断、人間ドック、かかりつけ内科などで多く行われています。通常 4ng/ml 以上が高値とされていますが、前立腺癌のほか、前立腺肥大症や炎症、前立腺の機械的刺激、飲酒や射精などでも一時的に上昇します。

前立腺癌の確定診断は、前立腺針生検となります。針で採取した細胞を顕微鏡で検査（病理組織診断）し、癌であるか否か、癌であればそのタイプ（悪性度など）を判定します。

PSA が高値の際には、まずは、泌尿器科専門医を受診して頂き、PSA の再検査や MRI・超音波などの画像検査を行ったうえで、生検の必要性を相談することが重要です。

前立腺生検には、直腸から針を刺す経直腸的生検と、陰嚢肛門間からの経会陰的生検とがあります。当院では年間 250 人以上に生検を行っています。以前は経直腸的生検を行っていましたが、現在は経会陰的生検を採用しています。これにより検査後感染をきたすことは現在 200 名超行っておりますが、未だ認めておりません。

前立腺癌と診断された場合、治療方法は大きく分けて 4 つあります。①PSA 監視療法②手術治療③放射線治療④薬物療法があります。PSA 監視

療法は、悪性度の低い癌が対象となり、PSA が上昇するか否か治療せず様子をみていきます。手術治療は前立腺のなかだけに癌が留まっている場合に適応となります。手術の後遺障害として腹圧性尿失

の改良により、飛躍的に発生率は低下しています。放射線治療には体の外から放射線を当てる外照射法と前立腺内部に放射線を出す物質を埋め込む組織内照射療法があります。PSA の値や悪性度によって、ホルモン療法を組み合わせることが推奨されています。薬物療法では、まずはホルモン療法を行います。前立腺癌は男性ホルモンにより悪化するため、男性ホルモンを抑える治療が有効です。抗癌剤と比べ、体への影響は少ないですが、男性更年期症状や、筋肉量の低下、骨粗鬆症、高血糖や高脂血症を悪化させることが分かっています。薬物療法は高齢の方や、転移を有する状態の方などが対象となります。当院では癌の状態を把握した上で、適切な治療を患者さんと相談、希望に沿った治療を行っています。治療方法に応じて昭和大学関連施設と協力を図り治療を進めていきます。

2014 年男性癌罹患率では、前立腺癌は胃癌、肺癌、大腸癌に次いで 4 番目であり、増加傾向にあります。5 年生存率（診断から 5 年経過後に生存している方の比率）は他の癌に比べ非常に高いことが分かっていますが、2017 年の死亡者数は 1 万人超、男性癌死亡者数 6 番目となっています。

50 歳以上の方は毎年 PSA 測定を推奨しております。高値となってしまった方は、まずは泌尿器科専門医の受診をお勧めします。



泌尿器科
齋藤 克幸 講師

TOPICS クリスマスツリー一点灯式を行いました

11月28日（金）に当院1階のホスピタルストリートにて、クリスマスツリーの点灯式を行いました。今年で8回目となる点灯式ですが、今年もたくさんの方々と点灯の瞬間を迎えることができました。

ツリーの点灯後のミニコンサートでは、コーラスグループ『音の輪』の皆さんが素敵な歌声で盛り上げてくださいました。『音の輪』の皆さんには3年連続で参加いただいております。歌唱を聴いた方からは「クリスマス気分を味わえた!」・「素敵な歌声で感動した!」等の感謝のお言葉をいただき、いつもの当院とは違った素敵な時間が流れる点灯式となりました。ぜひ、皆さんも来年の点灯式にお越しください。



〈ミニコンサートの様子〉



〈『音の輪』の皆さん〉

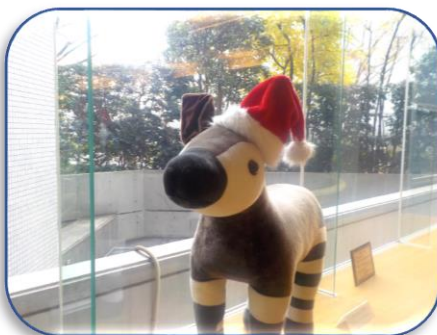
TOPICS クリスマスの飾りつけを行いました

クリスマス期間中（11月末～12月末）、クリスマスツリーの点灯以外にも院内ではクリスマスの飾りつけが行われていました。毎年、この時期には1階ロビーのオカピもサンタ帽をかぶってクリスマス気分を演出しています。その他にも、正面玄関の回転扉や小児科病棟でもクリスマスを思わせる飾りつけが行われました。

クリスマス以外にも、季節柄の飾りつけが毎月行われているので、是非ご来院の際には注目してください。



〈ウォールツリー（小児病棟）〉



〈1階ロビー オカピ〉



〈1階 MRI 検査室前〉

TOPICS ロビーコンサートのお知らせ



ロビーコンサートを開催いたします。
多くの方にお越しいただけることを
お待ちしております。

日 時： 2020年1月28日(火) 19:00～

※院内掲示のポスターをご確認ください。

場 所：中央棟1階 会計前ロビー

演奏者：ピアノデュオ 『Ai Fiori』

～大川彩子さん・仲摩綾野さん～



〈11月のロビーコンサート：高橋 美有さん〉

～ご紹介～

大学の同級生でピアノデュオを結成する。これまでに、
ほのぼの駅コン、星空のコンサート、病院等のサロンコン
サートに出演。精力的に活動し、幅広い年齢層から高い評
価を得ている。



医師の配属・異動・退職

＜新規配属医師＞

【附属施設より】

2020年1月1日付

- ・伊藤 英利 (内科)
- ・向井 勇貴 (産婦人科)
- ・佐野 栞 (整形外科)

江東豊洲病院 内科より
藤が丘病院 産婦人科より
昭和大学病院 整形外科より

2020年1月6日付

- ・柴田 英貴 (消化器センター)
- ・田淵 明彦 (産婦人科)

昭和大学病院 消化器外科より
昭和大学病院 産婦人科より

＜異動・退職医師＞

【附属施設へ】

2020年1月1日付

- ・佐藤 芳憲 (内科)
- ・平井 隆仁 (消化器センター)
- ・中林 裕貴 (産婦人科)

藤が丘病院 腎臓内科へ
昭和大学病院 消化器外科へ
昭和大学病院 産婦人科へ

2020年1月6日付

- ・樋口 大樹 (産婦人科)

藤が丘病院 産婦人科へ

【学外研修へ】2020年1月1日付

- ・阿部 正洋 (消化器センター)

【退職】2019年12月31日付

- ・川口 顕一朗 (耳鼻咽喉科)



TOPICS 横浜市北部緩和ケア研修会を開催しました

2019年12月1日（日）当院中央棟9階大会議室にて、今年度第2回目の開催となる「がん診療等に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（以下、「緩和ケア研修会」）」を開催いたしました。

e-learningを受講した上で参加していただき、当日は、院内外から集まった計19名の参加者と、ファシリテーターの先生方とともに、演習を中心としたプログラムを行いました。

次回の開催日は2020年5・6月を予定しております。当院で緩和ケア研修会へのご参加をお考えの方は、予めe-learningを受講いただくことをお勧めいたします。



〈当日の講義の様子〉



〈グループワークの様子〉



〈集合写真（講師と受講者の皆さん）〉

TOPICS アピアランスケア相談会のお知らせ

日 時： 2020年1月16日（木）14：40～16：00

場 所： 当院 中央棟9階 大会議室

お問い合わせ： 045-949-7205（がん相談支援センター）

ご参加をお待ちしております。

※相談会への参加は予約制です。予め事前予約をお願いいたします。【定員：20名】

○アピアランス（外見）ケアとは…

国立がん研究センター中央病院外見関連患者支援チーム（現アピアランス支援センター）が作成した言葉で、がん治療による外見の変化に対し医療者が行うケアを指します。単に変化前の外見に戻すのではなく、自分らしく生きられるよう、外見とともに周りの環境や患者本人の気持ちを整えるサポートをします。

国立がん研究センターが実施した調査では、外見に現れる身体症状が、医療者の予想以上に抗がん剤治療中の患者に苦痛をもたらしていることがわかりました。治療を受けながら仕事や家事を行う人も増えている中、外見が変わることで、人に会うことが苦痛に思えるなど社会生活が困難となる場合が少なくないため、アピアランスケアにより「患者と社会をつなぐ」ことが重要となっています。



患者さんからのご意見・ご要望

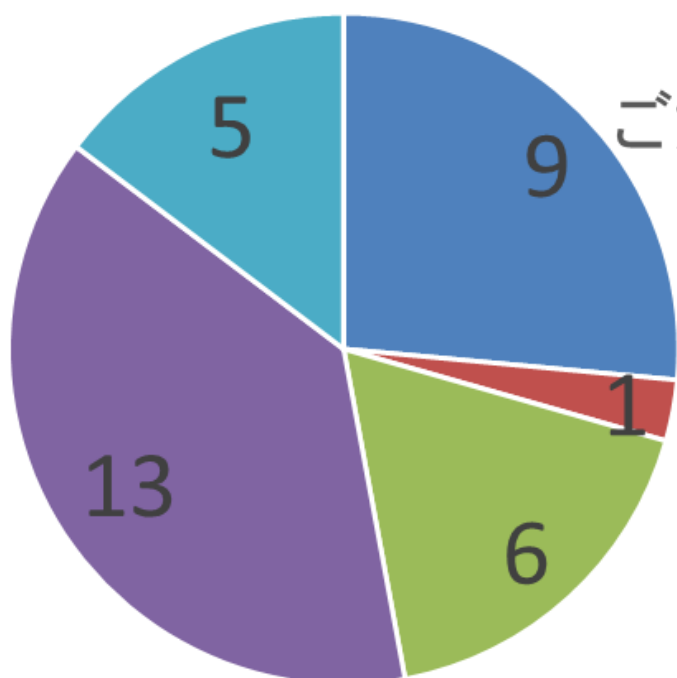
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
院内に喫煙スペースが無いせいか病院の周辺にて喫煙されている方が多く、通院の度に不快です。 院内もしくは院外のどこかに喫煙スペースを作って改善してほしいです。 また、外での喫煙を取り締まってほしいです。	当院は敷地内全面禁煙となっており、敷地内を含め病院建物内全ての箇所喫煙スペースを設けることができません。守衛巡回の時に、喫煙者を見つけた際にはお声掛けをしております。また、院内では職員を含め、患者さんに向けて掲示物による注意喚起をしております。 ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんがご理解の程よろしくお願い致します。
化学療法室の職員が1名で患者の対応をしているが、患者の人数に対しての人数が少なすぎる。 私たち患者にとっても不安を与えるので、せめてもう1名増やしてほしい。	この度は不安な思いをされたことについてお詫び申し上げます。化学療法室ではその日の化学療法件数に合わせて、看護師3名程度の配置をしております。 また、業務量に合わせて他の外来へ看護師の配置を流動的に行っているため、時間帯によっては1名での対応も発生しております。 今回のご意見を参考に、配置数について再検討したいと思います。また、看護師が1名であることで、「声をかけづらい」など具体的なお意見がございましたら、直接聞かせていただくと幸いです。

令和元年11月 ご意見・ご要望の総計34件



- 接遇・マナー
- 診療内容
- 運用・サービス
- 環境
- 感謝
- その他

診療統計

前年同月比 ()内は 1 日平均

診療実日数 2018 年 11 月 (入院：30 日・外来：23 日)、2019 年 11 月 (入院：30 日・外来：23 日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2018 年 11 月	17,485 人 (582.8 人)	26,048 人 (1132.5 人)	464 件 (15.5 件)	621 件 (32.2 件)
2019 年 11 月	18,169 人 (605.6 人)	25,001 人 (1,087 人)	521 件 (17.4 件)	756 件 (39.8 件)

TOPICS がん相談支援センターについて

がん専門相談員（看護師等）が、患者さんやご家族からのがんに関連した質問や相談をお受けし、情報提供や問題の解決に向けて、一緒に考えていきます。

※個人の秘密は守り、相談されたことにより不利益が生じないように配慮します。

※相談は無料です。

※当院以外の方の相談もお受けしています。

受付時間

月～金曜日（祝日除く）

8：30～17：00

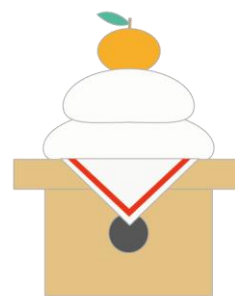
対応時間

月～金曜日（祝日除く）

8：30～17：00

場所

中央棟 1 階 総合相談センター



編集後記

皆さん、新年明けましておめでとうございます。年末年始は如何お過ごしだったでしょうか。今年は、いよいよ東京オリンピック開催の年となりました。先に行われたラグビーワールドカップでは、試合会場のあった横浜だけでなく、日本中が大変な盛り上がりを見せました。同じく 4 年に 1 度の大きな大会ですので、この夏が待ち遠しいと期待に胸を膨らませている方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。

私ども昭和大学横浜市北部病院職員一同も、この 1 年が皆様方にとって素晴らしいものとなりますことを祈念し、またより良質な医療を提供する地域中核病院としての使命を果たせるよう、気持ちを新たに努めて参りたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

〈昭和大学横浜市北部病院副院長 成島道昭〉



北部病院だより 第 139 号

2020 年 1 月 1 日発行

発行責任者 門倉 光隆（昭和大学横浜市北部病院長）

編集責任者 緒方 浩顕（広報委員会 委員長）

発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL：http://www.showau.ac.jp/SUHY/index.html

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。